

[曲名] Il Pastore Svizzero

スイスの牧人

[曲種]

[作曲者] Pietro Morlacchi

ピエトロ モルラッキ

[編曲者] Attilio Campanini

アッティリオ カンパニーニ

ミラノのリコルディの古い出版目録からPがピエトロであることは判明したが、作者については知ることが出来ない。

原曲はフルート独奏曲でカンパニーニによった第一変奏がデュオ曲風に編曲された以外は原曲と殆んど変りない。

編曲者カンパニーニは1874年に生まれ、1938年8月28日パルマに逝いた指揮者。

パルマの音楽学校出身でスカラ劇場管弦楽団のヴィオラ教授。

マンドリン界では名編曲者として知られ、ベートーヴェンの「アテネの廃墟」序曲、ペールの「マエストロ・ディ・カッペルラ」

メンデルスゾーンの「フィンガルの洞窟」序曲、ラモアの「舞踊組曲」等があり、各地のコンクールの部で屢（しばしば）入賞している。

伴奏のオーケストラのマンドリンパートは一種しかないのでピアノ譜から第二マンドリンパートを作成した。

1971年8月30日発行

イタリアマンドリン百曲選第13集より

[追記]

ピエトロ モルラッキ

Pietro Morlacchi

については中野氏の後継者でマンドリン独奏家、研究者でもあるSMD（同志社大MC）のOBで同大学MCの技術顧問、

石村隆行氏が渡伊されかなり詳しいことが判明してきてます。

時折フルート曲のCDにこの原曲が登場し {スイスの羊飼} などと訳されて、

作曲がフランチェスコ・モルラッキと書かれてありますが、これは氏の現地での調査の結果はっきり間違いであると記しておられます。

それによると

彼の生没年、詳しい経歴は判明していないが、唯一わかっているのは、

モルラッキはミラノのヴェルディ音楽院に1843年3月18日から1850年8月27日まで在籍して、

ラッポーニ教授に学んだこと、独創的幻想曲「スイスの牧人」は、この時期にすでに作曲されていたという事。

作品は多くがフルート曲で「綺想曲」「ロッシーニの主題による幻想曲」、フルート、ファゴット、ピアノのための「協奏的二重奏曲」等がある。

本曲「スイスの牧人」はフルーティストの重要なレパートリーとして今日まで愛奏されてきたが、

時代も作風も違うフランチェスコ・モルラッキ（1784～1841）の作品であると誤って伝わっているのは残念である。